47
2018.02
新潟市建築設計協同組合（官公需適格組合）
Niigata city Architects Union

MUTSUBI

1．ごあいさつ

2．委員会報告

総務委員会　業務委員会　開発委員会　事業委員会
意匠委員会　構造委員会　設備委員会

3．作品紹介

「新潟市立木戸小学校」　㈱堤建築設計事務所

4．事務所紹介

嶋田建築設計室

5．趣味のひろば

平原設計事務所　　平原　茂

index

NcAU：Niigata city Architects Union
新潟市建築設計協同組合

目次 ・・・・・ 1

ごあいさつ　理事長　松元　博文 ・・・・・ 2～3
副理事長　涌井　勝治 ・・・・・ 4
副理事長　丸山　健一 ・・・・・ 4

委員会報告
総務委員会・業務委員会 ・・・・・ 5
開発委員会 ・・・・・ 5～6
事業委員会 ・・・・・ 6
意匠委員会 ・・・・・ 6
構造委員会 ・・・・・ 7
設備委員会 ・・・・・ 7

作品紹介　「新潟市立木戸小学校」　㈱堤建築設計事務所 ・・・・・ 8～9

事務所紹介　嶋田建築設計室 ・・・・・ 10

趣味のひろば　平原設計事務所　平原　茂 ・・・・・ 11

ごあいさつ　新潟市建築設計協同組合　理事長：松元 博文

新潟市が平成25年度にまとめた「財産白書」（市が保有する土地や公共施設、インフラ資産といった財産の白書）の平成28年度版が昨年の春、公開されました。
平成23年をピークに減少に転じた本市の人口減少や少子高齢化は、本市のみならず、日本社会の大きな課題です。
白書の主旨は、「社会変化に伴う税収や歳入の減少にあわせた公共施設再編（縮減）は、自治体の財政の健全化を図る意味で不可欠である。」ということです。
しかし、財政の健全化と同時に「将来にわたって活力ある地域社会を維持していく」という目的を達成するためには、単なる施設量の削減だけではなく、施設を再編して活用するアイディア、イノベーション（革新）が不可欠であると考えます。
ここに当組合が、今後の公共建築に対し、どのように向かわなければならないのかという一つの方向が見えてきます。いわゆるストックビジネスへ向けた「自己教育」と「組織の行動力」が多くの公共建築に携わってきた組合技術者に対する社会の要請だと感じています。
昨年同様、今年も**「変えてはいけないもの」を意識しつつ、「変わるものへの対応」を意図をもって準備してゆく所存です。**

さて、昨年末に「組合員講習会」に80人を超える皆様からご参加いただき大変ありがとうございました。
その際９テーブルに分かれ討議いただいた議事内容を若手メンバーにまとめていただきましたので、組合ホームページ（組合員専用サイト）に掲載予定です。組合員及びその事務所メンバーの様々な現状データを基に自由に討議された他のテーブル会議がどのような内容であったかをご確認ください。

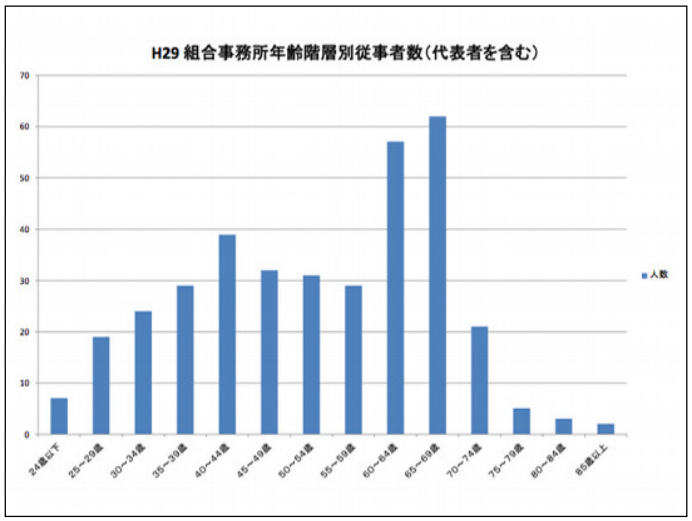
以下はその討議主題の概要です。

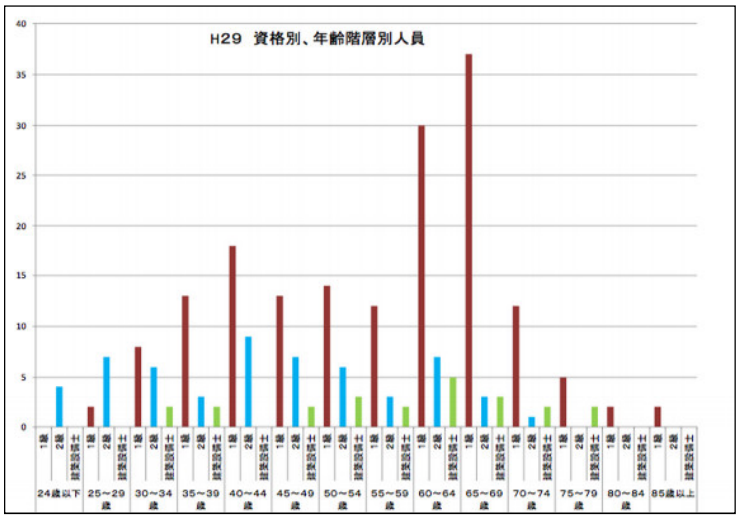
- 組合員技術者の高齢化に伴う設計技術者の減少とその対応
- 次世代建築技術者育成の対応
- 組合員相互の技術情報の交換と共有
- 市の技術者との交流と研究

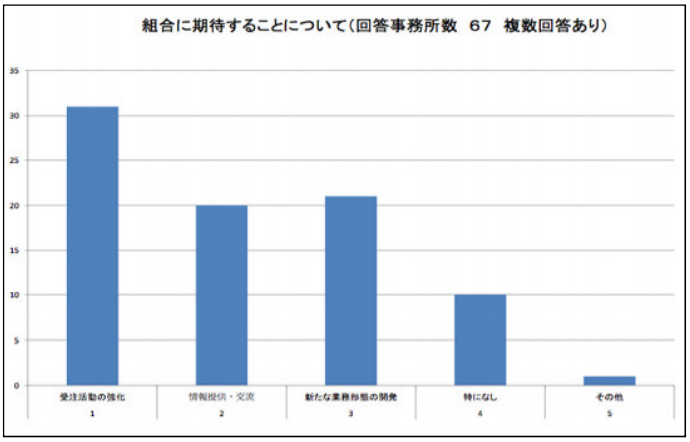
それぞれの主題に対し多くのご意見をいただきましたことを踏まえ、今後の組合活動に活かして行きたいと思います。
本年も、組合員の皆様のご協力をいただきながら、**「未来像」**を描き、**「自己教育」**し、**「対話」**を重ね、**「行動」**を続ける年としたいと思います。

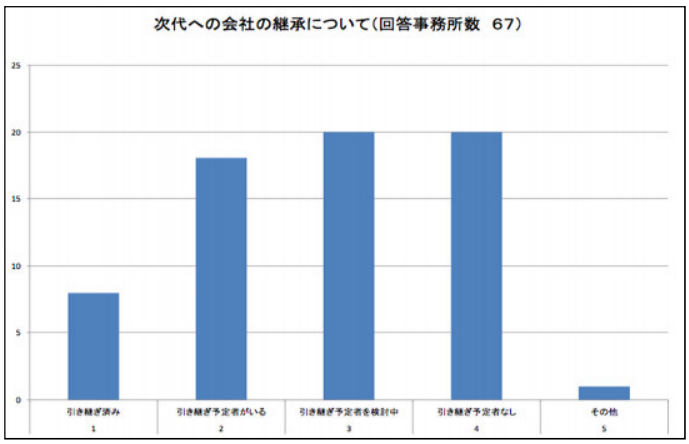
※以下は「組合員講習会」に提示したデータの一部です。

組合員・組合員事務所従事者　基礎データ	
組合員数	71者
組合員（法人にあっては代表者）の平均年齢	63.66歳
組合員事務所従事者数（代表者含む）	360人
１事務所平均人員	5.14人
従事者の平均年齢（全事務所）	52.53歳









ごあいさつ　新潟市建築設計協同組合　副理事長：涌井 勝治

平成29年度もまもなく終わり平成30年度がスタートします。

今年度の組合経営実績といえば平成28年度の赤字額より多少は縮小したとはいえ、いまだに赤字決算状態です。

新潟県内の同業７団体で組織しているN.A.C（新潟県内建築設計協同組合連絡協議会）の会議では当組合に限らずほとんどの組合が受託業務の減少に苦慮しているようです。

当組合としては現在受注している学校大規模改造工事設計業務委託を今後も継続していただける様に努めることは当然とし、更に設計業務と工事監理業務との一貫性を確保するための監理業務委託の受注に努めていきたいと思います。

また今年度の新潟市公募のプロポーザル事業に２件選考されました。
公募件数が２件でしたので全て当組合が選考されたことになり担当組合員の技術提案が高く評価された結果と思います。

今後、難しい事とは思いますがプロポーザル事業に当組合より複数の提案参加が出来る様に新潟市に働きかけていきたいと思います。

こんな時世だからこそ、「そろばん高くては続かない、辛抱強さが必要」･･･ではないでしょうか。
目先の赤字にとらわれず長い目で見ていくことも必要ではないかと思います。
先の組合員講習会で組合に対して寄せられた種々の、ご意見を今後の組合運営に活かしていきたいと思いますので今後とも組合員の皆様のご指導やご助言をよろしくお願いいたします。

ごあいさつ　新潟市建築設計協同組合　副理事長：丸山 健一

平成29年度も後わずかとなり、副理事長を拝命して早二年が経とうとしています。

この間、副理事長としてどれだけの成果を成し得たかを考えると反省しきりです。

昨年（平成29年11月）行った組合員講習会では、組合に対する多くの意見を伺う事ができ、大変参考になりました。この場をお借りし、今一度感謝申し上げます。

松元理事長が語る「大切なのは、『変えてはいけないもの』を意識しつつ、『変わるものへの対応』を意図をもって準備しなければいけない」との心構えと組合員講習会での皆様の声を胸に、今年度も誠実に役目を果たすべく努力したいと思いますので今後ともご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

総務委員会
業務委員会　委員長：本間 裕之

■総務委員会

組合員の皆様には日頃から組合の事業にご協力いただき感謝申し上げます。

今年度の総務委員会の事業内容の中からいくつかの内容について活動状況をご報告いたします。

1．平成28年度収支中間報告について

平成28年度の収支についての確認を行い、今年度の収支および決算見込みについて検討を行いました。プロポーザル事業や学校定期点検業務の受注もありましたが、今年度についても大規模改造関係の監理業務受注には至らず、組合にとって厳しい年となっています。次年度に向け、方針や運営について検討を行っております。

2．平成29年度組合員講習会について

今年度の組合員講習会を下記の日程にて開催しました。

日　時：平成29年11月22日（水）
会　場：万代シルバーホテル
内　容：1．各委員会活動報告
　　2．テーブル懇談会
　　テーマ「組合の明日を語る」

H29年度 組合員講習会

3．今年度プロポーザル事業について

今年度新潟市のプロポーザルについては「潟東小学校移転改築・潟東中学校一部改築基本設計業務委託」、「北区役所新庁舎建設基本・実施設計業務委託」の2件に参加し、両案件とも最優秀という結果で受注しています。

また、組合としての支援についても今まで通り参加者支援を行っています。

■業務委員会

今年度の業務委員会の事業内容について活動状況をご報告いたします。

1．新潟市発注の大規模改造工事について

今年度は小中学校大規模改造工事（2期目、3期目）の設計業務が14件発注され、それぞれの担当事務所を選定しました。

今年度も成果品の統一性の確保や発注者との連絡等を目的として、総合監修業務の担当者も選定を行いました。

2．新潟市の特定建築物等定期点検業務について

昨年度から受注している各学校の特定建築物定期点検業務を今年度分として60校受注し、担当事務所を選定しました。

3．その他

- プロポーザルで受注した「潟東小学校移転改築・潟東中学校一部改築基本設計業務委託」の担当事務所を選定しました。
- 新潟市より特定天井のある5施設の天井改修工法検討業務を受注し、これについて担当事務所を選定しました。
- 新潟市産業振興センターの今後の改修基本計画を含む老朽度調査業務を受注し、これについて担当事務所を選定しました。

開発委員会　委員長：渡辺　純一

日頃より組合員の皆様には、開発委員会にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

昨年度新たな業務として受注しました特定建築物（新潟市立学校施設等）定期点検業務について今年度も組合が引き続き業務を行うことができました。昨年度は特別委員会を立ち上げ、定期点検報告の内容について教育委員会施設課と業務内容についての協議を行い、実際の点検業務を行いましたが、本年度は今後も引き続き本業務が継続することが考えられるため、若い世代の多い開発委員会のメンバーで合同説明会の準備・開催や、報告書の確認作業を行っています。昨年度の反省点を踏まえ点検項目の見直し等を教育委員会施設課と調整し、また、報告書のフォーマットを大きく改訂する等修正を加え、分かり易く、使い易い報告書として継続していければと思っております。

また、それぞれの施設の調査・報告書の作成においては、組合員の皆様に多大なるご協力をいただいております。この場をお借りしまして御礼申し上げるとともに、引き続きご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

H29年度 学校施設定期点検調査合同説明会 2017.9.15

事業委員会　委員長：斎藤　学

組合員の皆様には日頃より事業委員会の活動にご理解をいただきありがとうございます。現在の活動状況についてご報告いたします。

今年度はWG活動開始に向けて事務局を立ち上げ、新潟市側との検討作業を進めており、2つの課題案が出ております。

1．『既存施設の用途変更・複合化についての検討と活用方法』

新潟市では、中学校区ごとに既存施設の検討資料を作成しており、再編計画を進めております。今後は統廃合も含めた施設の多機能化、複合化が増えていくと予想されます。しかし、用途変更を含む既存施設改修などでは多くの課題が考えられるため、改修方法やコスト試算などについて官民協働で研究を行えればと考えております。

2．『より良い建物としてゆくために一業務完了後の検証』

現在は、市からの委託業務完了後に振り返り作業などが行われておりません。業務完了後の検証を行う事により、設計、工事を進めて行くうえで、どのような課題があり、どう解決していったか、設計した通りの温熱環境となっているのか、施設管理者はどのような感想を持っているのか等々、多くの情報を得ることができます。また、これらの検証を発表する場を設けることで情報や目的を共有でき、新潟市職員と組合員が話しやすい環境づくりも出来るのではないかと考えております。

これらの課題案について、さらに新潟市側との協議を進め、今年春のWG研究開始を目指してまいります。

◇研究課題案 『既存施設の用途変更・複合化についての検討と活用方法』

建築	・関連法規チェックシートの作成	用途変更
		複合化の際の追加チェックシート
	・建物の機能向上、居住性向上	断熱性能の向上（床、壁、天井、建具など）
		設備機器の拡充（ＬＣＣ）
		機器、配管の更新について
構造	・荷重条件変更に伴う構造検討	
	・スリーブなどに伴う欠損箇所の構造検討	
電気	・関連法規チェックシートの作成	消防関連規定
	・建物の機能向上、居住性向上	設備機器の拡充、省エネ化（ＬＣＣ）
		機器、配管の更新について
機械	・建物の機能向上、居住性向上	設備機器の拡充、省エネ化（ＬＣＣ）
		機器、配管の更新について

研究課題案

意匠委員会　委員長：渋谷　聡

日頃より意匠委員会の活動にご協力をいただき大変ありがとうございます。意匠委員会は、一言で言えば、設計業務を技術的な面からフォローすることをその役割と考えています。

本年度の活動について報告させていただきます。

1．委員会開催と協議内容

小委員会：平成29年10月30日
・省エネ法、実務者講習会に向けて

第 1 回：平成29年12月7日
・大規模改造の実務情報の収集について

第 2 回：平成30年1月30日
・実務者講習会の内容と役割分担

2．活動内容報告

①すまいづくり教室の対応

当初は、市との協議・契約を例年の通り進めていく予定でした。
しかし、市の委託規模が縮小してしまい、多人数の講師を派遣する必要がなくなりました。
そのため、委員会での対応を中止し、一部の組合員がその対応をすることになりました。

②設計審査報告書の見直し

設計審査部会が大規模改造のチェックシート作成を行い、それに微力ながら協力をしました。

③改正省エネ法についての横断的研究

昨年度は法について研究や講習会に参加し、概要的な部分を実務者講習会で発表しました。今年度はこれに引き続き、もう少し踏み込んだ研究を設備委員会と協力し合って進めています。具体的でわかり易い計算事例を作成し、実務者講習会で公表する予定です。

④大規模改造に係る知識の共有

近年の設計受注で多くを占める大規模改造工事設計業務については、新築と違う苦労があります。新築や増築の設計業務とは違うことや、通常起こらない事件があり、現場での変更や失敗に至るケースが色々生じています。そこで、これまでに起きた大規模改造特有の経験を知識として共有し今後の設計に役立てようと考え、事例情報を収集しています。結果を取りまとめて実務者講習会で公表します。また、今後の業務が円滑に進むように新潟市からも同様のヒアリングを行い、皆様に報告する予定です。

1．事例や定石の紹介
2．失敗例・注意すべき事項の紹介
3．うまく進めるための事前対応

といった内容を発表します。

大規模改造業務の進行や実務情報のとりまとめの中で、技術的な対応以外のことにも今後は目を向ける必要があると感じました。設計業務や監理業務で我々がやらなければならない範囲はどこまでなのかということ。職域を超えたことを期待されたり、発注者がするべき事務作業の資料作りを頼まれたりということがあります。また、設計変更についての建築士としての責任の所在などにも目を向けていく必要があります。このような基本的なことを整理していかなければならないと感じた一年でした。

構造委員会　委員長：長橋 鐵雄

構造委員会の活動内容を報告させていただきます。
構造委員会を平成29年9月28日（木）に開催し、藤木鉄工㈱東港工場見学会、大規模改造工事設計の問題点と今後の協議事項を話し合いました。

トイレ改修に伴う補強は、昨年の現場での設計変更のままですが、新設配管スリーブ孔の補強方法として、（鉄筋を切った場合）設計段階からある程度見込んでおきたい旨の相談もあり、部分的な炭素繊維補強の検討を行っております。平成30年度には皆様に報告できればと思っております。

平成29年度は、藤木鉄工㈱東港工場の見学会を実施しました。次世代技術者の育成の一環として、国内でも数少ないSグレードの工場技術を見ていただき、技術向上の助けになればと思いました。組合員の募集枠が20名と少なく、参加できなかった方には申し訳ありませんでした。

【見学会概要】
日　時：平成29年11月1日（水）
　　13：30 ～ 15：30
会　場：藤木鉄工㈱東港工場
参加者：新潟市12名、組合員22名　計34名

見学会前ビデオでの説明

工場内見学風景

設備委員会　委員長：伊藤　徹

今年度の設備委員会の活動内容等を報告させていただきます。

1．学校大規模改造の設計に関して
①新潟市より要望を伺う
②組合員の要望を伺う
③設計作業のルールや注意点をまとめて組合員へ発信

2．改正省エネ法について
改正省エネ法に関して実務的なアドバイスの内容検討と組合員へ発信

学校大規模改造の設計につきましては、新潟市よりトイレ改修についての話が多くありました。
トイレ改修におけるポイントを参考までにまとめてみましたので下記をご覧ください。

作品紹介

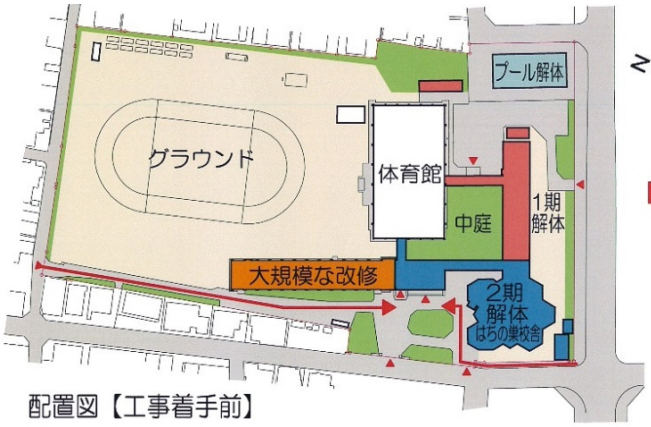
「新潟市立木戸小学校」
㈱堤建築設計事務所

■　**設計趣旨**

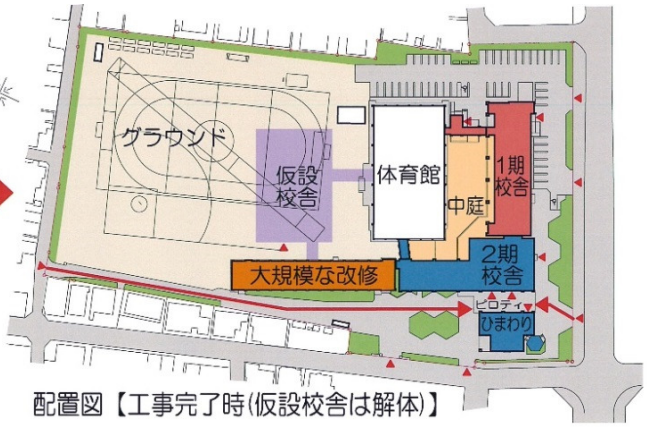
木戸小学校の校舎は築後39～46年経過しており、老朽化が著しく耐震性も確保されていないことから、校舎の一部改築と耐震補強を伴う大規模な改修を行う事により、教育環境の充実、災害時の避難場所としての機能の改善及び地域に開かれた施設を目指し、設計を行いました。

■　**計画概要**

新校舎の位置は既存校舎とほぼ同じ位置での計画となったため、児童への環境変化の影響を少なくするため、はじめに必要最小限の仮設校舎を建設し、その後新校舎を2期に分けて工事を行いました。また、1期校舎側に給食室・普通教室・階段・EV・WC・屋上プール等、主要な機能を集約することにより、少しでも早く児童が新校舎で生活ができる計画としました。



配置図【工事着手前】



配置図【工事完了時(仮設校舎は解体)】

■　**建設スケジュール**

平成25年度　仮設校舎建設
平成26年度　既存校舎耐震補強・大規模な改修
　　１期校舎・プール解体
　　１期校舎着工
平成27年度　１期校舎（屋上プール）竣工
　　２期校舎解体
　　２期校舎着工
平成28年度　２期校舎竣工
平成29年度　仮設校舎解体　グラウンド整備

■　**配置計画**

限られた敷地を有効利用するために、プールは屋上に計画し不足していた駐車場を確保しました。

児童の通学路は敷地南側と北側に二分していたため、建物の中央にピロティ形式の昇降口を配置し、スムーズな動線計画としています。また、このピロティに面して、ひまわりクラブの玄関を計画することにより、雨に濡れることなく児童が移動できます。

南側外観

昇降口

屋上プール

■　平面計画

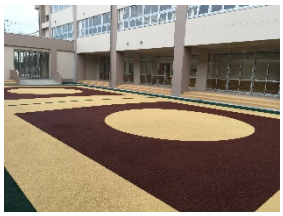
１階は昇降口を中心に多目的室・ボランティア室・職員室が有機的につながる計画としています。

普通教室は2・3階に配置し、学年ごとにまとまりのあるブロック構成としています。また、各階に普通教室と同じ広さの多目的室を配置することにより、少人数学習や普通教室では行いにくい音の出る授業が可能です。また、児童数増による普通教室増にも対応できる計画としています。児童の安全対策として、どこからでも2方向避難が確実に確保できる計画です。そして、学校開放時には段階的に開放エリアが管理でき、その際も2方向避難の確保が可能となっています。

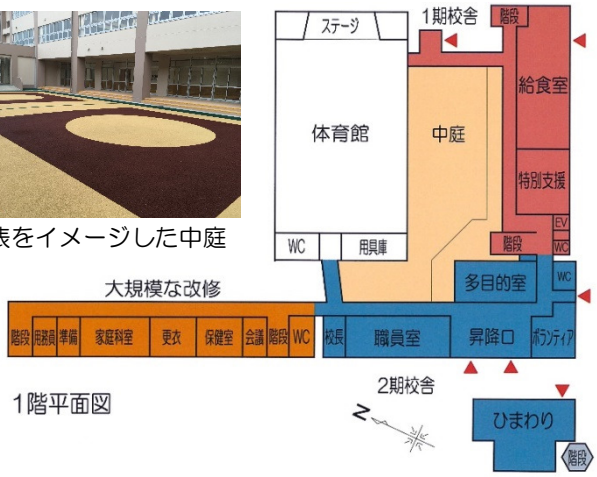
■　地域の宝

解体された校舎は六角形と八角形で教室を構成しており、その形状から「はちの巣校舎」と呼ばれ地域の方々や卒業生に愛されていました。

新校舎では、その形状を建物の一部やサインに継承することにより、いつまでも忘れることなく、「二代目はちの巣校舎」として愛着を持ってもらえるように心掛けました。また、中庭の仕上げをゴムチップ舗装とし、平成21年に取り壊された相撲の土俵をイメージしたデザインとしています。晴れた日には子供たちが相撲を取っている姿が見られます。

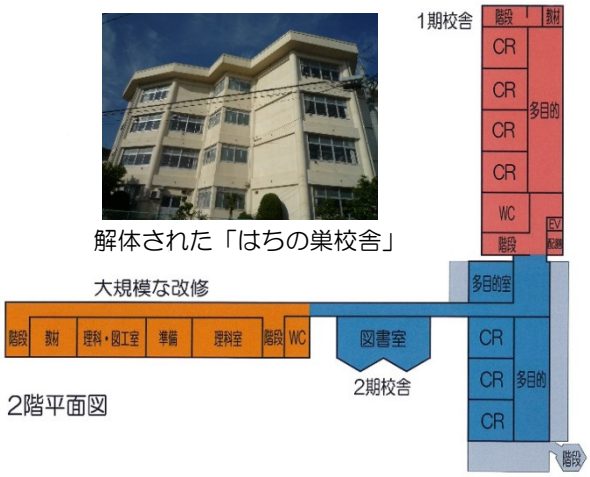


土俵をイメージした中庭



1階平面図

解体された「はちの巣校舎」



2階平面図

普通教室

図書室

「二代目はちの巣校舎」

サイン

■　建築概要

建設場所：新潟市東区中山4丁目
用途地域：第一種・二種中高層住居専用地域
防火地域：指定無し　法22条区域
敷地面積：16,861.85㎡
建築面積：3,559.40㎡（改築部分1,867.56㎡）
延床面積：7,478.39㎡（改築部分4,645.48㎡）
規模構造：RC造　地上４階建
主要外部仕上
　屋　根：塩ビシート防水
　外　壁：複層仕上塗材E
　開口部：アルミサッシ（複層ガラス）
　プール：FRP25m×6コース（屋上に設置）
主要内部仕上
　床　：複合フローリング、ビニル床シート
　壁　：GB-R+EP-G（腰：シナ合板）
　天　井：教室DR（直貼）　廊下GB-D

電気設備
　受電方式：高圧受変電方式
　防災設備：非常放送　自動火災報知機
空調設備
　冷暖房方式：GHP
衛生設備
　給水方式：受水槽+加圧ポンプ
　排水方式：公共下水道
　消火設備：屋内消火栓設備
　ガス設備：都市ガス

■　設計・監理

意匠：㈱堤建築設計事務所　電気：涌井電気設備設計室
　　㈱鈴木設計企画　機械：㈲オヤマツ設計事務所
　　佐野建築設計事務所
構造：㈱建構造研究所

事務所紹介　嶋田建築設計室

平成23年に新潟市建築設計協同組合に加入して7年、平成18年に事務所を開設して12年、平成4年に建築設計の仕事に就きまして26年という長～い月日が経ちました。緒先輩方から見れば若造ですが。

事務所は西蒲区（旧西川町）の「超」と「ド」が付く田舎にあります。組合までは車で約30分とアクセスはそんなに悪くありません。造建築工房さんとはご近所です。

自宅の一室を改装して設計室にしていますが、６帖程度のウサギ小屋で仕事をしています。

自宅の一室を改装して作った事務所

事務所入口

住宅瑕疵担保などの検査業務もしていますので日中は現場に出ていることが多いです。そのため固定電話はほぼ留守電になっていますので、ご用の方は携帯電話にご連絡お願いします。

設計、現場と一人で切り盛りしており、限界を感じつつスタッフ募集も考えますが、暇な時の事を考えると恐ろしくて募集出来ない状況です。

「かさぼん」は西蒲区西川地区（旧西川町）のゆるキャラ

手作りのお神輿

地元の西川商工会に加入して、有志で手作りのお神輿で西川まつりに参加しています。

かさぼんは傘ぼこをイメージしたキャラクターで、あのゆるキャラグランプリにも出場しており過去の成績は？？？位とか。また参加しましたら是非ご投票お願いします。

みなさんご存知かと思いますが、平成12年に当時組合事務局の方と結婚しました。当時お世話になった方々にこの場をお借りしてお礼申し上げます。早いもので結婚18年目になります。子供も長女が15歳、長男が11歳になりました。とりあえずは円満？に生活を送っております。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

趣味のひろば　平原設計事務所　　平原　茂

　ワインにはまっています。
きっかけは輸入業者の試飲会でした。そこで出会ったのがルーマニアの赤ワインでした。もともと業者相手の代理店とかで販売は最低6本単位とのこと。この6本という数がのめり込むきっかけでした。1、2本では味はすぐに忘れてしまいますが、6本も飲むと記憶にしっかりと残るのです。昨日の女房の料理は味どころか何を食べたかも思い出せませんが、ワインは時間が経ってもその特徴が頭に浮かんできます。
　そのワインは甘口で、濃厚で、今でも思い出すと、涎がでてきます。私の貧困な語彙ではその特徴を表現できないので、女性のイメージに置き換えて説明します。

　北国のさびしい街で、ムショ帰りの健さんを待つ倍賞千恵子さんのイメージです。貧しい東欧の、鄙にはまれな美しいワイン。健さんは夢中になります。ところが、二人の関係も突然の破局。信じていたカミさんが心変わりしてしまったのです。2007年までは相思相愛の関係が、2008年からは一変してしまいました。この年はブドウの不作でワインの味が変わってしまったのです。傷心の健さんは旅に出ました。

ワイン名：Luccarelli Pazzia Primitivo di Manduria
スタイル：赤ワイン

ボリューム	：軽い	★★★★★	重い
タンニン	：控えめ	★★★☆☆	強い
甘み	：ドライ	★★★★☆	甘い
酸味	：まろやか	★★☆☆☆	シャープ
果実味	：スパイシー	★★★☆☆	フルーティ

女性に例えると…妖しい熟女

　たどり着いたところはイタリアの南端（かかとの部分）です。そこで出会ったのが情熱の国ラテン系の妖しい熟女パッツィーア。見るからにグラマラスで官能的な姿態が健さんをとらえて離しません。何年も二人の関係は続きます。しかしそこは健さん、しがらみを裁ち切ってまた北国をめざすのでした。

　今度はイタリア北部のピエモンテ州。
ここでまた一人の女性に出会います。バルベーラ・ダスティ。蠱惑的で華がある半面、時には寂しい表情ものぞかせ…（大原麗子さんをイメージしてください。）彼女との甘い関係は今も続いています。
　でも健さんはスペインに向かいます。「いつ戻ってきてもいいのよ」との麗子の思いを胸にいざラマンチャへ。

ワイン名：Barbera d’Asti Superiore
スタイル：赤ワイン

ボリューム	：軽い	★★★★☆	重い
タンニン	：控えめ	★★☆☆☆	強い
甘み	：ドライ	★★★★☆	甘い
酸味	：まろやか	★★☆☆☆	シャープ
果実味	：スパイシー	★★★★☆	フルーティ

女性に例えると…大原麗子さん

ワイン名：Kios Tempranillo
スタイル：赤ワイン

ボリューム	：軽い	★★★★☆	重い
タンニン	：控えめ	★★★★★	強い
甘み	：ドライ	★☆☆☆☆	甘い
酸味	：まろやか	★★★★☆	シャープ
果実味	：スパイシー	★★☆☆☆	フルーティ

女性に例えると…ラマンチャの女性

　ここで今までの女性たちとは真逆の女性に出会います。赤土の大地の上で自らも汗を流しながら夫の残した醸造所を懸命に護っている。（あくまでも私の勝手な妄想です。）
男勝りの女性キオス。土臭く、色も香りも濃く渋さの強烈なワインです。
　こんな女性もいたのかと健さんは衝撃を受けます。

　ヨーロッパをウロウロしている健さんですが、偶然覗いたネットオークションにあのルーマニアの千恵子が出ていたのです。2007年のその姿でマルモロートが。（ついに名前をばらしてしまいました。）「逃げた女房には未練はないが…」強がりを言っても健さんの心は乱れています。「やつれたお前が人目にさらされて…いっそうこの手で身請けしてやろうか」

さあ　どうする健さん。

組合行事写真

●H29.5.22　第34回通常総会

●H29.11.22　組合員講習会

表紙紹介

スペインの建築家アントニ・ガウディ（1852年～1926年）が54歳の時に邸宅として設計した建物で、ユネスコの世界遺産（1984年登録）でありながら、現在も4世帯が居住する集合住宅です。
石灰岩でできた波打つ外観は、地中海をイメージして作られ、異なった曲線を持つ全てのバルコニーには海藻のような鉄製の手摺がついています。
またオブジェのような煙突や換気口が立ち並ぶ、独特な雰囲気の屋上や建物内にあるガウディ博物館も見学することができます。

設計：アントニ・ガウディ（スペイン　カタルーニャ）カサ・ミラ
表紙撮影：（2014年10月）：副理事長　丸山　健一

編集後記
事務局だより

厳しい寒さが続いておりますが皆様いかがお過ごしでしょうか。早く春が来ないかと毎日待ち遠しいです。

さて、前回このコーナーでもお話しましたが、組合のＨＰ・メンバーズサイトには委員会活動報告やダウンロードできる各種様式など色々なものを掲載しております。ちなみにこの睦びもＨＰ上でご覧いただくことができます。組合行事写真なども載ってますよ！(笑)
まだ１度もログインしていない方はまずログインをお願いいたします。
※メンバーズサイトログインの際はユーザー名・パスワードが必要になります。

ここで編集作業について少しお話したいと思います。
１番苦労する箇所は、読み手に分かりやすい文章に修正することです。
原稿を執筆していただいた皆様、それぞれ言葉の表現が違っていたり書いた本人しか分からない言い方だったりするので、何度も読み返し、元の意味を壊さないよう、また、読み手に伝わるよう修正するといったことが1番大変です。

今、睦びは年１回の発刊ですが、最近ネタ切れになってきています。何か面白いコーナー等ありましたら事務局までお気軽にお知らせください。また、睦びの表紙写真もまだまだ募集しておりますので、併せてよろしくお願いいたします。

最後に…原稿を作成してくださいました皆様お忙しい中ありがとうございました。今回も素敵な機関誌になりました！

編集後記：事務局　髙橋